

機械器具 24 知覚検査又は運動機能検査用器具

筋電計電極 JMDN コード：11441002

管理医療機器（短期的使用換気用気管チューブ MDN コード：14085012）

（体表面筋電計電極 JMDN コード：11441001）

ALM チューブ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

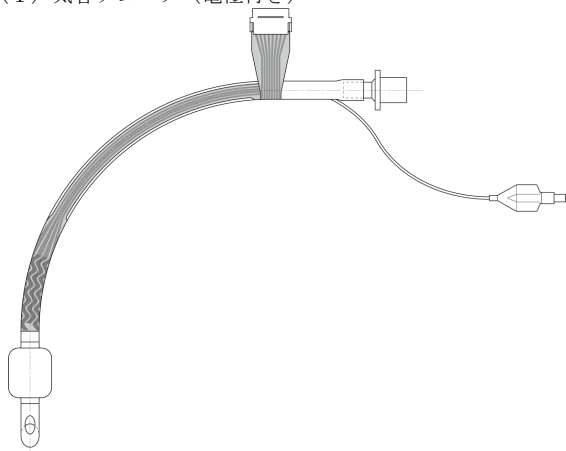
使用方法

- ・再使用禁止 [交差感染のおそれ]
- ・磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）内で使用しないこと。
[MRI 装置への吸着、過熱、火傷等のおそれ]

【形状・構造及び原理等】

構成・形状

- （1）気管チューブ（電極付き）



- （2）付属品

参照用電極

アダプターケーブル

原材料

ポリ塩化ビニル（DEHP 不使用）、二酸化チタン、銀、
熱可塑性ポリウレタン、ウレタンアクリレートオリゴマー、
アクリル樹脂

【使用目的又は効果】

外科手術中における換気、気道確保のために経口的に挿入し、喉頭筋の筋繊維に誘発される活動電位を検知するために使用する。付属する体表面電極は、参照用電極として使用する。

【使用方法等】

使用方法

- 1) 挿管前に気管チューブに閉塞がない事を確認します。シリンジコネクタにシリンジを接続してカフが十分に膨らむまで空気を注入し、漏れがない事を確認した後に空気を完全に抜きます。
- 2) 気管チューブを電極部が声帯に直接接触するように挿管します。
- 3) 参照用電極を患者の肩に装着します。
- 4) 気管チューブの電極及び参照用電極を誘発反応測定装置等の測定装置へ（必要に応じてアダプターケーブルを使用して）接続し、測定装置の使用方法に基づき計測を行います。
- 5) 測定が終了したら気管チューブを患者より抜去し、気管チューブ及び参照用電極を医療廃棄物として処理します。

使用方法等に関連する使用上の注意

患者の体位変換中に気管チューブの位置がずれる事があるので、体位変換後は電極の位置を視覚的に確認すること。

組み合わせて使用する医療機器

本品と組み合わせて使用可能な電気刺激装置（誘発反応測定装置）は以下のとおりである。当社が認めた医療機器以外と組み合わせて使用しないこと。

組み合わせて使用可能な電気刺激装置

販 売 名	医療機器認証番号
術中モニタリングシステム ISIS IOM	230AMBZX00004000
術中モニタリングシステム C2 Xplore	303AMBZX00004000

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・筋弛緩剤等は神経刺激に対する筋電図への反応を著しく低下させるため、筋弛緩剤等を併用しないこと。
- ・挿管用の潤滑剤は本品の電極への絶縁効果をもたらす可能性があることに留意すること。
- ・本品の近くで電気メス等の電気手術器を使用する場合は、電気手術器の注意事項を考慮し使用方法を遵守すること。
[火傷おそれ]
- ・本品の挿管は深度マーカのみに依存する事なく、解剖学的な個体差に留意し臨床学的判断に基づき挿管すること。
- ・本品の最大使用時間は、6 時間を想定している。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

温 度：15℃～25℃

相対湿度：35～50%（乾燥した場所に保管すること）

保管時に折曲げたりしないこと。

有効期限

滅菌後 3 年（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：JP クリード株式会社

東京都台東区西浅草 1-7-19

TEL：03-6912-1090 FAX：03-6912-1091

外国製造業者：inomed Medizintechnik GmbH（ドイツ）

（イノメッド メディズインテックニク社）

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。